

ごあいさつ

広島県公立小中学校事務職員研究協議会は昭和35年の設立以来、広島県教育委員会をはじめとして各方面のご支援をいただき、今日を迎えることができましたことに深く感謝いたします。

学校教育法が改正後、私たちは「事務をつかさどる」事務職員像を模索してきました。「チーム学校」の中の事務職員の役割がますます重要となり、校務運営への参加も着実に進んできました。

私たち県事研では、広島県事研ビジョンをもとに事務職員として学校で果たす役割、事務職員のあるべき姿を求め研究協議を重ねています。その中で事務職員像を模索し、自らを高めていくと共にチーム学校の一員として力が発揮できる事務職員を目指し研究活動を推進してきました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により、これまでに経験のない状況の中スタートしました。感染拡大防止のため、事務職員の立場で様々な対応にあたってきました。またICT化の流れが急速に早まり、予算管理、機器使用等様々な対応が不可欠となっています。今年度の研究大会に向けた準備も様々な悪条件の中、活動を進め、新たな方法を模索してきました。昨年度の大会中止という状況から、今年度は感染対策を講じた上での開催を検討してきましたが、残念ながら皆が一堂に会しての大会開催を断念することになりました。しかしながら私たちは研究の歩みを止めることなく、ICT等を活用し新たな方法で活動を進めています。withコロナafterコロナ等の社会の大きな変動の中にあっても、今後の展望を見通す力を身に付け、どのような状況にも柔軟に対応し、現状の中から最善を選べる判断力を発揮する「子どもたちの未来を共に創る」事務職員を目指して研究活動を進めていきましょう。

令和3年10月

広島県公立小中学校事務研究協議会

会 長 笠 原 有 子